

# エンカウンター（ENCOUNTER）

## 第 73 号

平成 20 年 5 月 20 日

編集・発行人 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西 2-14-28 山口周三

電話 045-912-1960

バジレア・シュリンク

「愛のまなざし 神の子の日ごとのよりどころ」より（6）

10月24日

すすんで貧しく、無能で、弱い者でありなさい。人間の力がどんなに大きくても、あなたはそれよりももっと偉大なことを神の力によって成し遂げられると、主は私たちに語っておられます。神からの命と力であなたは自分の最大的能力以上の成果を上げるでしょう。

神がああなたの弱さの中に御自分の力を注いでくださることに感謝しなさい。

10月25日

あなたの前には心配事が山積みになっています。それなのに主は言われます。困難に呑み込まれるのはあなた自身のせいである、と。だれも自分の惨めさの中にとどまる必要はありません。ただ自分の心配や悩み、自分に欠けているものを神の御前に持って行かず、神の助けに依り頼まない者だけが困難の中にいつまでもとどまるのです。あなたが御父により頼む信頼に応じて助けをいただけるのです。

10月27日

私は何度かこの課題のためにひたすら祈ったけれど、神は聞き入れてくださらない、もう仕方がないとあなたは言います。そのように言うてはいけません。もしあなたが子であるなら、門をたたき続け、絶えず新たに乞い求めるでしょう。それが謙遜のしるしです。神はへりくだる人に恵みを賜ります。主はへりくだった幼子のような祈りに耳を傾けられるのです。…

10月28日

大きな試練の時に、不安もなく恐れずにいられるのはだれでしょう。「私のお父さま、最愛のお父さま」と心の中で愛をもって絶えず御名を呼ぶことを学んできた人です。既に日常生活において、どのような困難にあっても幼子のような父への信頼をもって生きてきた人は、御名を呼ぶことによって強くされ、大きな試練の時に御父の助けを得るでしょう。今、天の父と共に生き、確信をもって御名を呼ぶことに励みなさい。この御名は、最大の苦しみの夜にも力と助けをもたらすでしょう。

10月30日

神の心があなたに対して閉ざされているように思えるなら、その心を開く方法があります。それは感謝をささげることです。感謝は謙虚な愛のしるしです。謙虚な人は、自分に示された最も小さな親切にさえ驚きます。自分がそれにふさわしくないと思っているからです。このような人は自分に示された最も小さな心遣い、助けと好意に、愛に満ちた感謝をもってこたえ、それに報いたいと願うのです。あなたにおこるこれらの最も小さなものはみな神の御手からくるのです。だから神に感謝し始めなさい。一つ一つを書き留めなさい。この感謝によって神の心が大きく開かれ、豊かな祝福があなたの上に降り注がれるでしょう。

## 11月1日

イエスがパンと魚を増やして食べさせ、皆を満腹させたように、神は欠乏を満たしに変えてくださいます。今日も神はわずかなものを増やされます。しかし、だれがそれを体験するでしょうか。弟子たちはその時わずかなパンと魚を自分達で食べることができず、群集に配らなければなりませんでした。分け与えるうちにパンと魚は増え、弟子たちも含めて全員が満腹したのです。

ですからあなたも与えなさい。そうすれば与えられるのです。しかし、まず弟子たちがイエスの手にパンを渡したように、あなたも持っているものをまず神の御手にゆだねなさい。その時あなたが愛と信頼をもって神にゆだねたわずかなものが神の祝福によって増やされ、「壺の粉は尽きることがない」(列王記上 17・14) でしょう。困窮の時にもそのようにしなさい。

## 11月4日

あなたはもはや困難のどのような解決方法も見出せません。しかしながら絶望によって困難が解決されることは決してないし、だれもそれによって目的に達した人はいません。

神こそがあなたのために困難を解決してくださると信じなさい。信頼はいつでも困難を好転させてきたのです。

## 11月6日

苦しみと懲らしめの時は準備期間にすぎず、従って永続するものではありません。その後には既にこの地上にさえ喜びと笑いの時が訪れます。それは天国の前触れなのです。

私たちが永遠のための準備期間としてこの人生を終えたあと、神の国で喜び踊るのです。それを目指して生きましょう。

11月5日

「私には祈れない。祈りには意味がない。神様が耳を貸してくれるはずがない。わたしはだめな人間だから」と、あなたは言うかも知れませんが、しかし神は聞いてくださいます。ただ私たちは誰かに電話をかけるとき、正しい番号をダイヤルしなければなりません。あらゆる祈りの基であり、いつも神の心に通じる祈りから始めなさい。あなたがどんなに惨めな罪人であるか、どんな過ちを犯したかを神に告白することです。勇気を奮って霊的なカウンセラーの前に余すところなく罪を明るみに出すのです。そうすればあなたは赦され、罪から解放されるでしょう。

あなたを愛し、あなたが不幸であるのを見ることに耐えられない神は、あなたを待っておられます。罪を告白する人々を神はその腕に抱き、彼らの祈りは聞き入れられるのです。

11月8日

あなたはもし恐怖の核戦争が始まったら、逃げ道はないと考えています。けれども愛は助ける力がある限り、いつも出口を知っています。

父なる神は、だれよりも私たちを愛し、だれにも助けられないような時にもなお助けることができになります。神はいつもあなたに困難から脱出する道をひらいてくださいます。ですから出口があることを信じなさい。そうすれば出口は必ず見えてきます。

11月10日

神の憐みに満ちた愛を素直に信じられない人は、神が実のところ私たちに何も報いる必要などないにもかかわらず、ほんのささいなことにも天国で報いてくださることをよく考えるべきです。

もし神が私たちの行いを量ろうとなさったら、どんなことになるでしょうか。一方のはかり皿に私たちの罪と過ちのすべてを乗せ、私たちが神への愛ゆえに蒔いた善きもののごとくをもう一方に乗せたなら、いつも罪を乗せたはかり皿のほうに大きく傾くに違いありません。それでも神は、私たちが小さな者の一人に飲ませた一杯の水にも報いてくださるのです。このことはあらゆる罪と過ちに直面する時も、神は私たちを罪に応じてあしらわれることなく、深い憐みをかけてくださると信じる助けになります。

11月12日

父なる神は子らを御自分のそば近くに置こうとされます。神がさまざまな困難や運命の打撃を送られるのも私たちを御もとに戻らせるためなのです。それなのに、私たちはこの神の試練という使者を喜ばず、気分を害して反抗的になります。また御父の愛や期待していた贈り物が得られず、神がこんなにも遠く感じられることを不思議に思うのです。

環境や人々によって私たちの身にふりかかるどんな試練の時にも「立ち帰って、戻ってきなさい！」と呼びかける神の愛の声を聞きましょう。そして実際に立ち帰るのです。父なる神の愛は私たちをご自分との交わりに招き入れようとします。神はこの親密な交わりの中で私たちを幸福にしたいと願っておられます。そのために私たちは神に造られ、イエス・キリストによって贖われたのです。神があなたにつかわされる試練という使者を受け入れなさい。

11月13日

あなたは真夜中が近づいているのを感じます。世界はますます暗くなっていきます。戦争とキリスト教徒迫害の火種は燃え上がります。悪霊の力は地上を駆け巡り、罪と無法を煽っています。青梯増す。あなたは恐れに取り付かれています。

主は「恐れるな、ただ信じなさい」とあなたに呼びかけておられます。かつて神の民は信仰によって、乾いた地面を歩むように紅海を渡りました。あなたも信仰によって乾いた地に行くように、この時代の大波を分けて進むことができます。あなたは信仰によって、きのうも今日も永遠に変わることはない方によって奇跡を体験するでしょう。

11月15日

落胆し、苦難や試みに見舞われるときこそ、主は「喜びなさい。いつも喜んでいなさい」とあなたに呼びかけられます。喜ぶことには訓練が要ります。神は私たちに訓練するように励まされます。なぜなら神は落胆や憂うつが私たちを弱くすることをご存じだからです。しかし御父は私たちを強くしたいと望まれます。「主を喜び祝うことこそあなたたちの力の源です」(ネヘミヤ8・10)

ですから、空の鳥さえ養い、それよりもっと御自分の子であるあなたを心にかけてくださる父なる神の愛にまず感謝し、主を喜びなさい。神が御自分の子としてあなたを愛し、イエスの受難によってあなたを赦してくださることを感謝しなさい。そうすれば、喜びがあなたの心に訪れるでしょう。この喜びは決してあなたから奪い去られることはありません。なぜなら永遠にいます神が喜びの源であるからです。そして、あなたは強くなって勝利を得るでしょう。

11月16日

神は誇る人々や傲慢な人々に敵対されます。彼らの驕りは神の偉大さとその働きの邪魔をしています。ですから子供のようにになりなさい。父なる神は小さな者たちに恵みを注ぎ、心を傾けてくださいます。神は貧しい者、弱い者、無力な者を愛されます。神に愛される人は神のふところに抱かれます。

これを知ることは弱く、取るに足りない貧しいものであるあなたにとって十分ではありませんか。

11月23日

心配する心は、私たちの驕りのしるしです。私たちはすべてが自分次第であり、あらゆる問題の解決は自分の責任だと思っています。しかし、子として御父を中心にする人は、真の子供のように自分の手段や可能性ではなく、御父の力と能力に依り頼みます。そうする人は心配から解放されます。

11月24日

神はあなたの人生と務めに重荷を負わせておられます。ですから神は、あなたが必要とするだけの力と助けをあなたに与える責任も引き受けておられることを信じなさい。神はあなたに助けを与えずに要求ばかりするきびしい方ではありません。神は、あなたが置かれた状況に必要な助けを厳密に考慮し、力と能力に応じて、与えようとしておられます。心の中で「あなたは厳しい方です」という者は、力も助けも得られないでしょう。その人は自ら、自分の不信仰や不平、反逆によって神の助けを拒んでしまうのです。

1 1月29日

神は小さなもの、取るに足りない者の父です。彼らを通して神は最も偉大な業を行われます。

小さな者になろうとしなさい。そうすれば神はあなたを最も偉大なことのために用いられます。

1 2月3日

あなたは自分の理解の及ぶところでしか神の助けに依り頼みません。しかし、神はあなたの理解をはるかに超えた助けの方法を持っておられます。

神を信頼しなさい。神が全能であり、人間には理解できない大きな奇跡と御業を行われることを覚えなさい。それこそ神への正しい信頼なのです。

1 2月7日

将来への不安があなたの心を重くします。

主はあなたにこう言われます。

「わたしはいつもあなたと共にいると言わなかつただろうか。苦しみの日も例外ではない。それどころか、その時こそかつてなかったほどあなたと共にいるだろう。苦しみが7倍大きければ、私の助けも7倍となるだろう。最大の苦しみの日にあなたを助けるために、もっと大勢の力強い天使を率いてあなたのところに来る。そのことを信頼しなさい。」

困難が大きければ大きいほど、神は私たちに近寄りその助けを以前にもまして与えてくださるのです。



12月13日

今日はあれこれの困難や喜び、明日はまた別のことをあなたにもたらすでしょう。しかしあなたに起こるものは何ひとつ偶然ではありません。最もささいな出来事やあなたの人生に起こる小さな事件もそうです。それどころか「町に災いが起こったなら、それは主がなされた」(アモス3・6)ことなのです。あなたの人生のために、あなたの一日のために神の計画の中で忘れられているものは、何もありません。すべては完全なのです。

あなたが直面するすべての出来事の中に父の御手を見なさい。御父から来るものは祝福に満ち、あなたにとって最善であるに違いありません。神が日々くださるすべてのものを愛をもって感謝し、謙虚に受け入れる人は、神の愛の祝福を豊かに受けるでしょう。たとえそれらの出来事がどんなにやっかいであったとしても。

12月20日

イエスは「心を入れ替えて子供のようにならなければ、決して天の国に入ることは出来ない」(マタイ18・3)と私たちに呼びかけておられます。またそうでなければ天国の宝を願っても得られないでしょう。ですから絶えず新たに高慢、独善、自己過信、神の御旨と懲らしめに対する反抗といったすべての罪から離れましょう。その時私たちは祈りによって多くのものを得ます。そして、子として天国の宝と御父の贈り物をいただくでしょう。

12月23日

すべてにおいて望みがないように見えます。あなたには目の前の障害、困難、不可能しか見えません。

困難の壁を持ち上げることでできることを用いなさい。そのことは信仰の祈りです。それは強力で、あらゆることを可能にします。

あなたが頼むその方はすべてがおできになり、あなたとあなたの困難に、御自分の力を発揮されるでしょう。それを信じるなら、あなたは助けられます。子供が困っているのを見ながら、何の手助けもしない父親がいるのでしょうか。

12月27日

神は愛する父として、御自分の子であるあなたと対話することを望んでおられます。神はあなたが祈りの中でご自分に近づき、心を注ぎ出すのを待っておられます。神は御言葉を通して語りかけ、あなたがそれに従うのを待っておられます。もしあなたが忠実にこの機会を生かさないとしたら、何ともったいないことでしょう。あなたが神との対話を守る、その静かな時間だけが、日々の困難に打ち勝つ力を与えてくれるのです。この祈りの時を忠実に守りなさい。神との交わりはあなたを無敵にします。

12月30日

神はだれにもこの地上での寿命を与えておられます。その命は短く、長くても8,90年です。いつの日かあなたを豊かに報おうとされる神の愛は、日ごとにあなたの人生に多くの種を蒔くチャンスを与えます。

人生のどのような時が臨終の間際に豊かな収穫をもたらすのでしょうか。私たちが神に献げた時間です。ですから神への愛のしるしとして、もっと多くの時間を神に献げなさい。神はそれを待っておられ、今もそして永遠においても、報いてくださるでしょう。